

2015年7月9日 【第2回】



【クラブ奉仕／木下委員長】

クラブの運営について、リーダーを決めることによって、効率的な運営をすることが目標になっています（CLP）。

例会の管理・運営については人に任せるだけではなくより有機的に運営をすることを目標にしたいと考えます。

そして、様々な発想を持って取り組めるようにしたいと考えます。以前行われていた新入会員に対するガイダンスも復活させたいと考えております。

片付け、準備など、皆さんの協力よろしくお願いいたします。

【職業奉仕／（河合委員長）代理・大島会員】

特に「倫理観」に注意し、「プロフェッショナル」ということを考えて職業奉仕を行っていきたいと考えます。

「職業奉仕」という概念（資料抜粋）

「ロータリーの目的」は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した声明です。職業奉仕は、「ロータリーの目的」の第2項に記しています。

- ・ 職業上の高い倫理基準
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものと言う認識
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

職業奉仕の実践例

- ・ 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学びあう。
- ・ 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
- ・ 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
- ・ 若者のキャリア目標を支援する。
- ・ 専門能力の開発を奨励し、指導する。

職業奉仕はロータリーの真髄であり、ロータリーをほかの団体と分かつ要素でもあります。